

第3回大阪地方会 活動報告

平成27年7月11日（土）

於：大阪労災病院 管理棟3階 大ホール

平成27年7月11日（土）大阪労災病院 管理棟3階大ホールにて、第3回大阪地方会を開催しました。当日は台風の影響があるかと心配していましたが、特に問題もなく当日を迎えることができました。会員19名、非会員25名の合計44名の方にご参加いただくことが出来ました。

始めに、大阪府支部副支部長の堀田より、宮崎県で開催されました全国大会での実務者の方の発表が医師事務作業補助者という職種の確立に向け着実に進化していること、矢口理事長からの医師事務作業補助者という職種の資格化に向けた熱い思いが語られたことをご報告し、大阪府支部でも引き続き実務者の方々の知識やスキルの向上につながる活動を取り組んでいくことをお伝えさせていただきました。

続いて、「知って得する！リハビリテーション業務」と題して、大阪労災病院リハビリテーション科部長 平林伸治先生よりご講演いただきました。日頃、医師事務作業補助者として業務を行う上で心構え、そして悩まされることが多い障害年金の書類を記載する上での注意点など、具体的に資料を提供いただき分かり易くお話しいただきました。平林先生のお話は、リハビリテーションの歴史から始まりその目的に至るもので、医療に携わる者として今後直面していく2025年問題を視野に入れた考え深いものでありました。



として業務を行う上で心構え、そして悩まされることが多い障害年金の書類を記載する上での注意点など、具体的に資料を提供いただき分かり易くお話しいただきました。平林先生のお話は、リハビリテーションの歴史から始まりその目的に至るもので、医療に携わる者として今後直面していく2025年問題を視野に入れた考え深いものでありました。

15分の休憩をはさみ、後半はグループディスカッションを行いました。今回は少しでも充実した時間を過ごしていただきたく、申し込み時に希望を確認させていただきました。『文書作成支援に関すること』『教育（人材育成）に関すること』『診療支援に関すること』『その他フリー』というカテゴリーで各2グループの合計8グループ、1グループ4～6名で行っていただきました。まだまだ他の医療機関の取り組みや実際の運用など“聞きたい”“知りたい”と言う実務者の方が多くいらっしゃることもアンケート結果より伺えます。



今回グループ内で決めていただいて進行や書記を行っていただきましたので、出だしは少し声のトーンも低く、開始時は世話人からも心配の声が出ていましたが、時間が経つに

つれ活発なディスカッションになりました。また、今回カテゴリーを分け希望を確認したことで、希望されたことについての自院の問題・課題、また他医療機関への質問など事前に準備いただき、いつもより深いディスカッションを行っていただけたのではと思います。



最後に、りんくう総合医療センターの大野昭先生よりご挨拶をいただきました。

そのお話には、患者様の生死にいつも向き合っている医師という仕事の責任も重さ、そしてそれを事務領域ではあるが補助をする私たち医師事務作業補助者への期待を語っていただきました。平林先生のお話を振り返りながら、人が生きるということについて深く考えさせられるお話でもありました。

大阪府支部では、気軽に参加でき、参加いただいた方同志が交流しやすい場の提供を心がけております。そして皆様からいただきましたご意見をしっかりと受け止め、今後の地方会開催に活かしていきたいと思っております。

医師事務作業補助の実務者の方々の更なる成長を目指して活動を行ってまいりますので、今後共ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

NPO 日本医師事務作業補助研究会
大阪府支部 副支部長 事務局
府中病院 堀田 恵